

副議長に和田栄七郎氏

二月二日、第一回、二月十八日、第二回市議会臨時会が行われ、提案された三議案が原案どおり可決されました。また、副議長選挙が行われ、和田栄七郎氏が選出されました。

■議会人事
五十嵐仁一郎氏の副議長辞職に伴い、不在となっていた副議長の選挙が行われ、和田栄七郎氏（七十三歳・保坂）が選出されました。

■可決された主な議案
・平成十一年度白根市ガス事業会計補正予算（第二号）
下八枚ガス供給所付近への落雷に

第一回・第二回市議会臨時会

よる被害の復旧のため、平成十一年度から平成十二年度までの債務負担行為として、六千三百万円の予算の補正が行われました。

・白根市特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
事務処理において一部に不適正な点があったことから、市民や議会に対して誤解を招き、迷惑を掛けたことについてけじめをつける意味で、市長と助役の給与の減給の条例に関する提案がなされました。内容は、三分の給与月額をそれぞれ一〇パーセント減額するというものです。

「リバー・ピープル」出演者・スタッフ募集開始



二月十六日、しろね大風と歴史の館で「住民参加ミュージカル『リバー・ピープル』川とたたかう人びと」制作発表会が行われました。

発表会には、制作を支援する白根市・味方村・月湯村・中之口村の四市村長と「ふれあいミュージカル実行委員」、報道関係者など約五十人が出席。同委員会会長の笹川博人さんは「多くの人が参加してくれることを願っています。みんなで力を出し合い、素晴らしいものになりたい」とミュージカルに掛ける意気込みを熱く語りました。

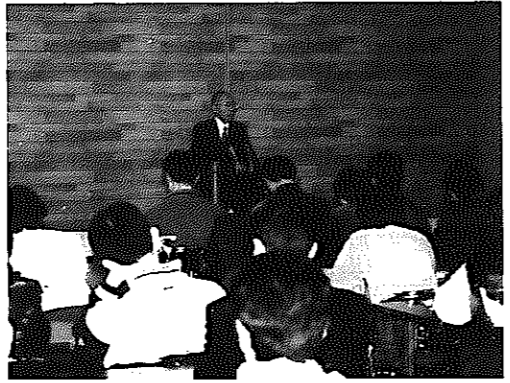
市民ミュージカル制作発表会

また、竹内市長が「住民が共通の認識を持ち、住民参加の地域づくりにつながる」と願っています。十月の本番まで結束して頑張つてほしい」と話しました。

実行委員会は約百七十人の出演者やスタッフの募集を開始しました。六月からのレッスンに参加できることが条件で、オーディションは四月九日に行われます。

申し込み・問い合わせは、市役所企画財政課内「ふれあいミュージカル実行委員会事務局」（☎373・2111）へ。

県の回答「第4学区変更はなし」
高校学区についての説明会



二月五日、カルチャーセンターで市教育委員会主催の「高校学区についての説明会」が行われました。

この日は、高校学区問題が持ち上がつてから初めての、県の関係者による説明会。出席者は市長をはじめ、市内各小・中学校長やPTAらおよそ二百人に上りました。

説明会では、県は「学区改正に関して付随する通学問題について、協力できることは行っていきます」としながらも、「これは、検討委員会を設けて二年間取り組んできた問題。白根市は昭和三十九年から三条・西浦学区と県の規則に規定されていることで、ほかの学区への変更は考えていない。隣接学区への入学許可率もこれまでの入学状況を基に決定したものである。入学枠に十分対応できる数字」と説明していました。

白根方式による地域とも補償制度を提案
水田農業経営確立対策の地区説明会

平成十二年度産のコメの生産調整を進めていくため、一月二十六日から二十八日、各地域生活センターやJA支所で「水田農業経営確立対策」の地区説明会が行われました。

説明会では、米の作付けを行わない水田の有効活用として、大豆を中心とした土地の団地化・集積化と園芸作物の推進を促していきたいと、白根方式による地域とも補償制度への参加を提案。そのため、市独自の助成などを行っていくこととし、市や農協などの農業関係者が農家代表者らに協力を呼び掛けました。

十二年度の配分面積は昨年と同じ三〇・四パーセント。市や農協では、「コメの価格維持、安定生産を見込むため生産調整は必要であり、三年連続の未達成は何としても避けた」と話しています。

TOPICS まちの話題

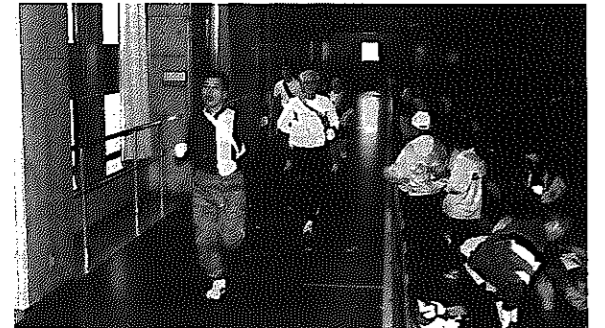
豊作と無病息災を願って
茨曾根地区公民館「さいの神」



2月5日、茨曾根地区公民館主催の「さいの神」行事が行われ、同地区に古くから伝わる豊作祈願の「もぐらもち送り」と「柿々なれ」も併せて行われました。

「もぐらもち送り」は、子どもたちが学校からさいの神の会場まで、もぐらの絵を付けた竹の棒を持って、空き缶を鳴らしながら練り歩きます。会場に到着すると「柿々なれ」を歌いながら、柿の木に小豆かゆをかけていました。その後、さいの神に火が付けられると、参加者は周りを囲んで無病息災を祈っていました。

たすきをつないで体力・健康づくり
第3回室内2時間耐久レース



運動不足になりがちな冬場の体力・健康づくりを図ろうと、1月30日、カルチャーセンターのランニングコースで「第3回室内2時間耐久レース」が行われ、市内外から20チームが参加しました。

レースは1チーム3から5人で、1周182メートルのコースを1人が3周以上走ってたすきをリレーし、120分間に何周走られるか競うもの。白根ジョギングクラブの広田竹雄会長は「上位のチームは200周以上走ります。年々参加チームが増えてうれしい」と話していました。

白根市立図書館「ASAP」情報

白根市立図書館「ASAP」情報

オープニングまであと三カ月。開館が待ち遠しい白根市立図書館ですが、今からは、学習館の特色ある施設機能や利用方法などを紹介していきます。

□生涯学習情報の発信基地
白根市立図書館の一階広場には、情報コーナーを設けていきます。各種講座や催し物案内のほか、生涯学習情報システム「ラ・ラ・ネット」の端末（写真参考）を設置します。

「ラ・ラ・ネット」は、生涯学習活動を応援する情報を、簡単な操作でパソコン画面から受け取れるもの。県内のイベントや講座などの学習機会情報や、施設情報、団体・グループ情報、ボランティア情報など、知りたい案内、情報が満載です。

□インターネットでも利用予約ができます
施設の利用申し込みについては、

はとっても簡単、分りやすい
目的の情報は4タッチ!

ラ・ラ・ネット 県内の生涯学習を紹介するパソコン通信システムとして、平成8年度に稼働。現在、インターネットへの切り替えが検討されています。

二月までに申し込み済みの人には、新しい貸出カードを次の方法でお渡しします。

三月十三日(月)から十七日(金)の午前九時から午後五時までに、現在休館中の図書館カウンターにお越しください。

申し込みの時に証明書を提示されていない人は、住所と氏名、生年月日を確認できるものを持参してください。

なお、この期日以外にもカードをお渡しする機会ができましたら、改めて広報紙上でお知らせします。

▼新図書館用「貸出カード」をお渡しする日